

当院で実施される下記の臨床研究はオプトアウトにより実施します。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、これらの研究にご自身の診療情報を使用してほしくない場合は各研究の担当者までお問合せください。

<p>研究課題 (承認番号)</p>	<p>くも膜下出血手術患者の早期リハビリテーションへの取り組みに関する後方視的研究 (2022021)</p>
<p>担当科及び研究責任者</p>	<p>看護部 ICU 菅原沙樹</p>
<p>利用目的</p>	<p>当施設でくも膜下出血にて入院、手術された患者でプロトコルを使用し、リハビリテーションを進めた結果を集計、分析することで医療の質の向上に役立て、患者に最善の医療を提供することが目的である。プロトコルの使用により、リハビリ介入時間の短縮や入院前のADL獲得、早期自宅退院、合併症の減少を目的とした。</p>
<p>研究の対象者及び対象期間</p>	<p>2021年1月～6月、2022年1月～6月に脳神経外科や脳血管内科にてくも膜下出血で入院し、クリッピング術およびコイル塞栓術を受けられた患者。</p>
<p>研究の方法</p>	<p>上記対象期間中、当施設へ入院され、クリッピング術及びコイル塞栓術受けられた患者に対して診療録より各因子(年齢、性別、患者背景、リハビリテーション進行状況、神経所見、治療法、合併症、予後など)のデータを収集して後方視的に総合的解析を行い、学会発表や論文などで公表する。</p>
<p>問合わせ先</p>	<p>看護部 ICU 菅原沙樹 代表：048-536-9900</p>
<p>備考</p>	<p>ご不明な点はお問合せください。</p>